

橋本を巡る



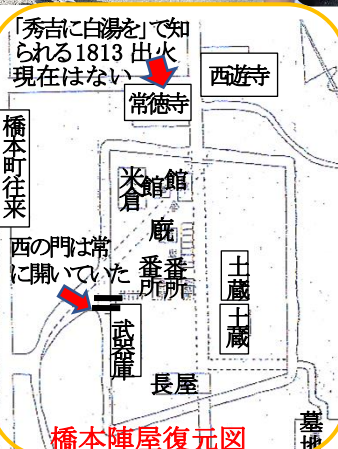
橋本ロータリーで集合

8 回目です

前回は昨年4月の三宅陣屋を巡って歩いたのに続き2回目の橋本。4月6日出口修さんに案内していただき、22人の参加者で歩いてきました。

橋本陣屋のこと

松平出羽守(第9代松江藩主)警備の幕府陣屋。1858年京都所代、奉行所の



そうで、西南雄藩(薩摩・長州・土佐・因州・芸備等)と脱落者の見張りを目的とした。1860年9月頃完成。館2棟、米倉、廬(うまや)、番所2か所、土蔵2棟、武器庫、長屋、門(北・西)。



③

湯沢山茶久蓮寺の三宅陣屋。今の橋本ロータリーの場所が正にそれです。この場で出口さんのお話が始まりました。



与力・同心が橋本堂ケ原、焼野一带5000坪を強制収用。これは社士、商人、百姓が代々所有した21人分の土地だった

元・歌舞練場①
1853年の黒船ペリーの開国要請に承諾した幕府とそれに反対する尊王攘夷派との闘いを背景として、1868年1月3日京都を

鳥羽伏見の戦い



元・歌舞練場②

舞台として始まりです。薩摩・長州軍が伏見奉行所と会津・新選組陣地に



半鐘

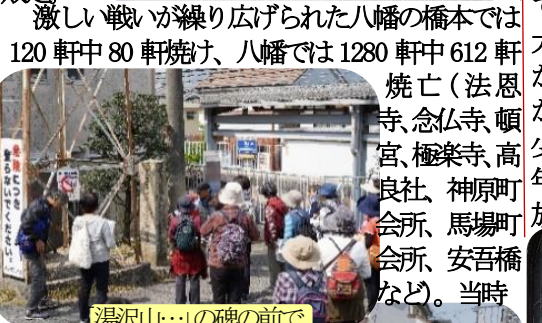


歴史と文化を訪ねて NO.8
橋本を巡る
八幡まるごと館



西遊寺

大砲を。4日には戦場が淀八幡に。5日幕府軍淀城明け渡し。6日八幡宮大住村奥坊に遷座、8日帰座。淀川対岸の新政府軍側に急遽ついた高浜からの砲撃で、幕府軍敗走。



橋本駅前の西遊寺前で

激しい戦いが繰り広げられた八幡の橋本では120軒中80軒焼け、八幡では1280軒中612軒焼亡(法恩寺、念仏寺、頓宮、極楽寺、高良社、神原町会所、馬場町会所、安吾橋など)。当時



八幡駅前

のこを橋本の社士の山田さんが日記に。長州藩が陣屋を占領して焼払い、陣地内の米蔵の食物や衣類等を橋本の被災者に分けたそう。幕府軍の方が数では圧倒していたが敗けたのは新政府軍の「錦の御旗」が鍵だったようだ。幕府軍は賊軍になるからと。陣地跡は元の地主に返され、明治22年八

水嫌地蔵

④

看板が①②。これは元・歌舞練場で大正12年に10万円をかけて作られた。当時橋本では貸座敷46軒あり、



⑤

芸妓60名、娼妓が127名も。橋本は船着き場として賑わっていた。湯沢山茶久蓮寺の碑③の左側に橋本渡船場三丁、山崎停車場十丁、柳谷観音一里二十丁とあるように船で川向うに。しかし明治10年に東海道線京都・

大阪間(山崎側)が開通し、渡しは衰退、その少し前の明治5年には娼妓解放令がだされたことから、『この地は水路、陸路からの客があって、何百年と遊情の習慣のある所で、酒魚茶菓店も成り立っていた。この状況では営業が立ち行かなくなる。このままではこの地は壊れてゆく、何とかしてほしい』と役所に嘆願書を。結果、明治20年知事



遊郭区域認可。世の景気によって変化はあったが、昭和12年では、貸座敷66軒(業者81名)、芸妓3名、娼妓675



柳谷渡し場の碑⑩

八幡まるごと館だより

2019年5月28日/113号

<発行>八幡まるごと館/八幡市男山松里12-20
(TEL&FAX) 075-983-3664(9時~17時)
(E-MAIL) yawata@marugotokan.net
ホームページは <http://marugotokan.net/>
又は、八幡まるごと館で検索して下さい



八幡まるごと館は街行く人のだれもが自由に立ち寄れる“地域サロン”です。休館日は毎週火曜日全日と土・日午後です。

旗田田子さん絵



大谷川沿いの家並み⑨

の(僧)が山崎橋本間に橋をかけた。地名橋本は橋の本(もと)に由来。しかし1850年9月7日大水で山崎橋断と。1592年にも豊臣秀吉の命により長さ324m、幅

の当時の家並みが続く④~⑨。信じられないような話が文書に残っていて、複雑な気持ちになります。

渡して賑わう 725年行基(奈良)

9mの橋が再建。柱の本数180本。橋が出来る以前から渡しが行われていた。山崎からは八幡宮の灯明用油を運ぶ。又、対岸や西国街道から石清水八幡宮へ参詣する人々、八幡から柳谷観音や長岡天神(長岡京市)へ参詣する人々に利用された。千年にわたって

土手の先が淀川



て続いてきた橋本の渡し舟は1962年(昭和37)に、鉄道の発達と道路の整備によって廃止。道標に「柳谷渡し場」⑩と記され今に、谷

ちょっとひと息



崎潤一郎の小説「蘆刈」の舞台にもなったけれど、当時桜と菜の花の協演

の賑わいを押し量ることは難しい。又元禄の時、柏村直篠(ななおた)・八幡

苦しい坂道です



森町の相撲神人・の八幡八景に、橋本行客「行舟もここによせよとうかれ女のかくるなさけや橋本の里」と詠む。当時の様子が、



さらに続く坂



(東京ドーム1個分の広さ)500戸建設。坂道が続く中、道路の両脇には大きな家が軒



狩尾神社階段

を連ねる。励まし合いながら歩きました。見上げればそこ



急な階段をのぼるに神社の階段が。狩尾神社

橋本地区の氏神で祭神は天照大神、大己貴命、天兒屋根命(岩屋の前で祝詞を。この神社は八幡宮遷座以前からあった。今の建物は慶長年間(1596~1614)のもの。10月25日の祭礼では八幡宮と同じく湯立神事が行われる。窯で湧かされた熱湯を境内に振りまくそううだ。神社は小高い丘の上にあ



「狩尾神社」

坂が多い!

少し休憩し、次は狩尾神社に向けて出発です。橋本栗ヶ谷

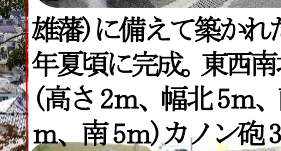


狩尾神社 吉田東子さん絵

は勿論、対岸の天王山などが見える。皆様、お疲れ様でした。私たちが行った時境内を掃除している方がおられ、祭礼のことを聞きました。異鳥を狩った所が地名・社名に



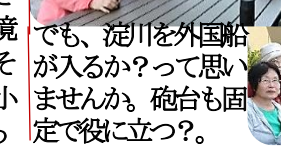
狩尾神社祭礼(ネットより)一を過ぎて昼食を。その後楠葉台場へ。大阪湾から



昼食をとりました



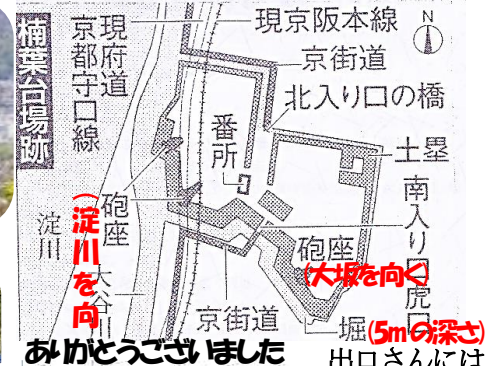
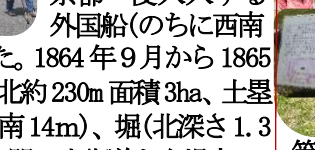
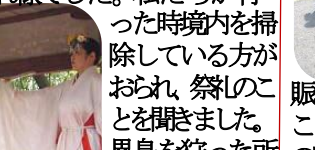
移動させ番所を設け、5mもの深い堀までであった。



でも、淀川を外国船が入るか?って思いませんか。砲台も固定で役に立つ?。



背割り堤の桜が見渡せて、境内からは背割り堤



楠葉台場跡の看板前で



台場跡 今のはどかな公園



番所と京街道の看板



ここで解散です

久修園院

賑わいを想像することはできません。この時代を生きてきた人々、市井の人々、特に女性の人たちの苦しみや悲しみを思ってしまう。その時を経ての今です。歴史を知ることで今までは違っていた橋本になりました。出口さんの資料からたくさん写し、「たんけん八幡」等参考にさせていただきました。また写真もいただき、ありがとうございました。書き足りないことがたくさんありますが、読みづらい文章でご指摘下さい。次回はずいき祭りです。(うえた)